

CISMOR (Center for Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions)

The Center of Oriental Studies, Cairo University

School of Theology, Doshisha University

The 2nd Joint Conference on Values in Religion
宗教における価値観をめぐる合同会議（第2回）

Conflict or Consensus among Religious Tradition and Modern Values
宗教的伝統と近代的価値の対立と合意

【スピーカー／Speaker】

Gamal Abd El Samea El Shazly (Professor, Cairo University / Director of The Center of Oriental Studies)
ガマル・アブド・エル・サメア・エル・シャズリ（カイロ大学教授／オリエント研究センター長）

Mohamed Hawary (Professor, Ain Shams University)
モハメド・ハワリー（アイン・シャムス大学教授）

Hanan Rafik Mohamed (Associate Professor, Cairo University)
ハナン・ラフィーク・ムハンマド（カイロ大学准教授）

Katsuhiko Kohara (Professor, Doshisha University / Director of CISMOR)
小原克博（同志社大学教授／一神教学際研究センター長）

【司会／Chair】

Junya Shinohe (Professor, Doshisha University)
四戸潤弥（同志社大学教授）

2013年9月21日（土）／ Sat., 21st September, 2013

13 : 00—15 : 30

Divinity Hall Chapel, Imadegawa Campus, Doshisha University
同志社大学今出川キャンパス神学館礼拝堂

日本語、英語講演・逐次通訳あり

入場無料、事前申込不要

お問い合わせ: TEL. 075-251-3972, E-mail: info@cismor.jp

【プログラム／ Program】

- 1) 挨拶／Greeting 13：00－13：30 小原克博／ Katsuhiko Kohara
Gamal Abd El Samea El Shazly
- 2) 講演／Lecture 13：30－14：00 Mohamed Hawary
「Concept of Justice in Judaism and Islam
(ユダヤ教とイスラームにおける正義の概念)」
- 14：00－14：20 Hanan Rafik Mohamed
「宗教的価値観と現在エジプトのヒジャーブ観
(Religious values and the concept of Hijab in Egypt now)」
- 14：20－14：40 小原克博／ Katsuhiko Kohara
「日本宗教は近代的価値とどのように向き合ってきたのか
—ポスト世俗主義時代への教訓
(How have the religions in Japan been encountering the modern values?
— A lesson for the post-secular age)」
- 3) コメント／Comment 14：40－14：50 塩崎悠輝／Yuki Shiozaki
- ***** 休憩／Break *****
- 4) 質疑応答／Q&A 14：55－15：30
- 司会／Chair : 四戸潤弥／Junya Shinohe
(同志社大学神学部・神学研究科教授)

【 Speaker Profile 】

ガマール・アブド・エル・サメア・エル・シャズリ Gamal Abd El Samea El Shazly

カイロ大学 (エジプト)、教授／オリエント研究センター長

1963年エジプトのギザ生まれ。1997年カイロ大学文学部とポツダム大学神学研究所（ドイツ）から博士学位を取得。1985年よりカイロ大学での講師等を経て、現職のカイロ大学文学部教授およびオリエント研究所所長に至る。カイロ大学をはじめとする多数の大学にて現代ヘブライ語およびヘブライ文学の教鞭を執っている。研究論文および書籍は多数あり。近著は以下のとおり。

Studies in the Contemporary Hebrew Literature with Translated Samples, El Thakafa for Publication and Distribution, Cairo, 2012

Studies in the Contemporary Hebrew Literature (first and second parts), Oriental Studies Center-Cairo University, 2013

モハメド・ハワリー Mohamed Hawary アイン・シャムス大学 (エジプト)、教授

1949年生まれ。現在、アイン・シャムス大教養学部ヘブライ学学科ユダヤ宗教思想、比較宗教学教授。研究・教育における専門分野は、ユダヤ教、聖書学、比較宗教学、アラム語パピルス（エレファンティーン島出土のアラム語写本）、ゲニザ写本、ユダヤ・アラビア語文学、カイロ・ゲニザ写本のユダヤ・アラビア語原典研究、ヘブライ語文法、聖書ヘブライ語、アラム語、シリア語文法、シリア文学。

カイロ・エジプト大学連合大学院オリエント言語協会（SOLGEU）発行の *Journal of Oriental Studies* の副編集長、エジプト・アシュート大学の教養学部オリエント言語学科長、及びアイン・シャムス大学現代文明研究センター（CSCC）のセンター長を務める。

ハナン・ラフィーク・ムハンマド Hanan Rafik Mohamed

カイロ大学(エジプト)、准教授

カイロ大学文学部日本語日本文学科卒業後、筑波大学大学院にて言語学修士学位を取得。さらにカイロ大学文学部日本語日本文学科にて言語学博士学位を取得。専門分野は言語学。2009年5月からカイロ大学文学部日本語日本文学科専任准教授。また、2005年4月から2011年3月まで東京外国語大学世界言語社会教育センター特任外国語教員（客員准教授）、2005年11月から2006年2月までは東京外国語大学公開講座「アラビア語入門」に講師として参加。日本外務省の非常勤講師も務める。

主要な著書としては、『東京外国語大学のアラビア語 第二巻 発音教室』（共著、東京外国語出版会、2013年予定）、「エジプト女性の「ヒジャーブ」事情」（『アラブ』No 145、日本アラブ協会発行、2013年）など多数あり。

小原 克博（こはら かつひろ） 同志社大学神学部、教授／CISMOR センター長

1965 年、大阪生まれ。マインツ大学、ハイデルベルク大学（ドイツ）に留学。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。現在、同志社大学神学部教授、一神教学際研究センター長。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。

著書に、『宗教のポリティクス—日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房、2010 年）、『神のドラマトロジー—自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館、2002 年）、『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP 研究所、2006 年）『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社、2001 年）などがある。

塩崎 悠輝（しおざきゆうき） 同志社神学神学部、助教

マレーシア国際イスラーム大学イスラーム啓人文学部修士課程修了、同志社大学神学部博士後期課程修了、神学博士。外務省在マレーシア日本国大使館専門調査員、日本学術振興会特別研究員を経て、現在は同志社大学神学部特別任用助教、同志社大学一神教学際研究センター（CISMOR）の CISMOR リサーチ・フェロー。

専門は、東南アジアのイスラーム、特にイスラーム法の受容と発展、中東からの影響について。主な編著書に『マイノリティ・ムスリムのイスラーム法学』（日本サウディアラビア協会）。

【次回のご案内】

公開講演会

ペルシア・イスラーム文化の諸相を知る —書道と詩を介して—

今回は、イランからアーハンギャラン氏とサーエム氏をお迎えし、ペルシア書道と詩の第一人者であるお二人のお話と実演を介し、ペルシア・イスラームの深い精神的芸術文化に触れる機会を持ちたいと思います。イスラーム教を理解するうえで、書物を介して宗教教義や思想を知るのみならず、それを取り巻き彩なす多面的な文化諸相に実際に触れ親しむことも、理解を新たにし、かつ深めるきっかけとなるでしょう。

- 【日時】 2013 年 10 月 5 日（土）
- 【会場】 同志社大学 今出川キャンパス 至誠館 3 階会議室
- 【講師】 ハサン・アーハンギャラン（Hasan Ahangaran）、書道家
アリーアスガル・サーエム（Aliasghar Saem）、ヘルシア詩人
- 【主催】 同志社大学一神教学際研究センター（CISMOR）
アルムスタファー国際大学在日事務所

ペルシア語講演（通訳あり）・入場無料・事前申込不要